



The Higo Foundation for Promotion of Medical Education and Research

# 肥後医育ニューズレター

(題字 元理事長 徳臣晴比古)

発行所 公益財団法人 肥後医育振興会  
 〒860-0811 熊本市本荘2丁目2番1号  
 TEL・FAX (096) 373-5425  
 ホームページ <http://www.119higo.com/>  
 E-mail [119higo@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp](mailto:119higo@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp)  
 理 事 長 神原 武 編 集 人 木原 信市  
 印刷所 頼城野印刷所 TEL (096) 286-3366(代)

## 理事長挨拶

### 肥後医育振興会設立十四年目、 熊本県第一号の公益財団法人に認定されて



理事長 神原 武

財団法人肥後医育振興会 学部創立一〇年記念事業として平成八年に発足したもので、熊本県における医学・医療振興に必要な教育・研究の助成、地域医療の向上と県民の健康増進、日本国内外の医学・医療の進展に寄与することを目的としており、資金は医学部教員、熊大医学部同窓会会員、更に一般の方々や団体からのご寄付によって賄われています。発足以来十四年目を迎えます。「肥後医育塾」開催や「まいらいふ」の発行により一般市民にもよく知られるようになってきています。一昨年法人法が改正されたのを機に、本年一月四日付けで熊本県第一号の公益財団法人に認定されて、創立以来の念願であった公益法人格を得、税制の優遇措置が認められるようになった。再出発を行いました。

①新公益財団法人として 新財団法人では、評議員会が最高意思決定機関、理事会が執行機関となり、評議員会や理事会には委任状出席や代理出席が認められず、公益目的事業活動費が総支出の二分の一以上をし

めること、次年度繰越金(遊休財産)の制限、などが厳しく要求されています。事業は公益目的事業(公と略)、収益事業(収と略)、その他の事業(相互扶助事業など、他と略)に分けられ、公益目的事業は従来から行われている(公1)医学教育・研究助成、外国人留学生奨学金の支給、(公2)市民公開セミナー「肥後医育塾」の開催、(公4)国際シンポジウム支援ですが、新たに収益事業として(収1)医学・医療情報提供事業として地域住民へ健康・医学、医療情報を積極的に提供して、地域住民の健康増進及び地域医療の向上を図るため、総合情報紙「あれんじ」の健康・医療面の執筆・監修を行います。その他の事業としては(他1)医学研究・研修会等助成事業、(他2)広報誌「ニューズレター」の編集・発行事業を行います。

全く新しい事業は「(公3)熊本県医療人育成総合会議」の開催です。今我が国では厚生労働省の国家試験に合格して資格を認定される医療職種が二十三あります。つまり、医療現場ではチーム医療が定着しつつあるわけです。ところが教育現場の方には、各種の医療人育成学校間で連絡を取り合いながら総合的に教育内容を話し合う制度や機会が存在しないのです。それで各種医療人教育者が集まる総合会議を作り、様々な角度から意見を交換し学びあうことにより、地域医療を担う医療人の質的、量的な必要性を満たす医療人の育成(医育)のあり方を探る会にしようという計画です。初回の会議で各方面から現状の認識が話されるはずなので、二回目以降は現状における問題点をもたらし原因を究明し更に目標を設定し、その解決のための有効な手段を開発・実施し、さらにはそれを評価(結果と目標との比較)する必要があると思います。しかも、それぞれをロジカルに進めていく事が大事だと思います。

②肥後医育振興会ホームページについて 一昨年七月三十日にホームページの維持管理をお願いしている熊本日日新聞社と協議を行い、活性化を検討することになり少しずつ進んでいます。改革には検証可能な評価法が必要ですので、まずはアクセス数で評価する事から始めています。アクセス数は一日当たり平成二十年一五六、平成二十一年一六六、平成二十二年(一〇七月)一九四で少しずつ増加しているようです。更に双方向性に本会へのご意見ご希望を聞ける「枠」を作れないかと思っています。

③肥後医育記念館の整備

肥後医育振興会や熊杏会(熊本大学医学部医学科同窓会)の事務所がある肥後医育記念館はミュージアムとしての役割もあるの、学生や見学者希望者に見せられように展示内容を整備しておきたいと思えます。まず財産目録の作成から始めなければいけません。それは既に出ている事を知り、その詳細を知りたく、関係者にレポートを依頼したところ、熊杏会編集委員長の松下教授が雑誌「熊杏」五十五号(二〇一〇年五月発行)に特集3として掲載してくださいました。今後この目録を見ながら、展示方法や必要経費の検討をしたいと思えます。その際、それらが現在には国有財産なのか大学法人の所有なのか、あるいは熊杏会の所有なのかの見極めも必要です。展示室整備には、今熊杏会で始まっています写真集「キャンパスノスタルジア」の制作も参考になると思います。

終わりに本会には皆様のご支援により成り立っていますので、今後とも皆様のますますのご支援を切にお願いし、ご遠慮なく本会に対するご意見ご要望を電話、手紙、メールなど色々なメディアを通じてお知らせ下さいますようお願いいたします。皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念してご挨拶に代えたいと思えます。

(平成二十二年九月八日)